



◇★面接でうまく答えるためのヒント★

面接には、必ずといっていいほど、面接官が発する定番質問があります。主に、「自己紹介系の質問」と「志望動機系の質問」です。今回は、うまく答えるためのヒントをお伝えします。

自己紹介系の質問に対しては、要点を絞って自分を表現する！

質問① 簡単に自己紹介をしてください。

ヒント

ダラダラとまとまりのない話をしないように、自分の良さをよく表現できる事例を絞って話しましょう。具体的な出来事と、それによって表される自分のアピールポイントをセットにして話すことで自分の魅力が伝わりやすくなります。

質問② 高校生活の一番の思い出は何ですか？

ヒント

楽しかったこと、嬉しかったこと、感動したことを具体的に紹介して、その経験で何が得られたかという自己PRも併せて紹介しましょう。

質問③ 現在通っている学校の校風や特色を教えてください。

ヒント

校風や教育方針などを急に聞かれても答えられない人もいます。この機会に一度自分の通う学校のことを振り返っておきましょう。生徒手帳などを読み返してみるとヒントが見つかるかもしれません。

自己紹介ではココが大事！

- 一緒に働きたいと思える
- 仕事も頑張ってくれると期待できる

⇒面接官がこの2点を感じてくれれば自己紹介は成功です。難しく考えずに明るくハキハキと自己紹介をしましょう。



志望動機系の話をするときには、事前の勉強が欠かせない！

質問① 当社を志望した理由を教えてください。

ヒント

高校生の場合は、学校の先生に推薦された会社を受けることがあると思いますが、その理由だけでは働く意欲が伝わりません。自分自身の考えを必ず付け加えるようにしましょう。

質問② 当社の業務内容は知っていますか？

ヒント

会社案内や求人票に書いてあることには、必ず目を通しておきましょう。他にも社長の名前や従業員数を聞かれることもあるので、持っている資料は暗記する位によく読んでおくようにしましょう。

志望動機ではココが大事！

- 真剣に働く意欲を持っている
- 仕事に関する最低限の知識を勉強している

⇒この2点をきっちりアピールして、「この会社で働くことを本気で考えている」ことを伝えられれば成功といえるでしょう。

質問③ 社会で働くことは学生時代と何が違うと思いますか？

ヒント

「志望動機」とは少し違いますが、働くことへの意欲や覚悟をきく質問です。社会に出ることやその会社で働くことは高校時代と何が違うのか、面接の前によく考えておくといいでしょう。



(資料出所 厚生労働省「高校生就職ガイダンス」より)

●卒業大学／卒業年 龍谷大学／平成27年3月卒

二村 将也

勤務先：八幡信用金庫

職種：金融総合職



大学時代はギターサークルに所属していました！



☆現在の仕事について

今は預金関係事務や営業同行訪問をしています。小さなことでもお客様の役に立てた時に感謝の言葉をかけていただけると、やりがいを感じます。

仕事をしていく上で基本的な知識を覚えることに苦労していますが、必要な資格等の習得に向けてがんばっています。

会社を決めた理由は郡上踊りコンクールや清掃活動への参加など、地域とともに働ける環境に魅力を感じたからです。

☆就職について

郡上市内に就職を決めた理由は、一度大学進学のために郡上を出て、改めて郡上の自然や文化、地域のつながりに惹かれたからです。

就職活動中は自分史の作成や普段の会話を通してまずは自分をよく知り、それをうまく表現することを心掛けました。内定後は新聞を読んだり積極的に人と関わって、世間と地域のことをよく知ろうという意識を持って行動していました。

就職活動中に学んだり経験したりすることは社会人になっても役に立つと思うので、その貴重な時間の中で多くを吸収してください！



<編集後記> 会社見学にも行き、応募企業も決まってきたところだと思います。来月からの選考試験に備え、今から準備をしておきましょう。志望動機の「その仕事に就きたい理由」と「その会社に入りたい理由」をきちんと説明できるよう、応募先についてよく理解しておく必要があります。意識して事前に情報収集をしましょう。(A)